

愛しいてい

I C T

No.8

H26.1.24

次の一步

我が校の ICT 機器活用は、わずか数ヶ月で由利本荘市の先進校といえるほど、急激な伸びをみせました。これは、ひとえに、先生方の授業力の高さゆえだと思います。ICT 機器を道具としてよく使いこなし、授業の質もアップしているように感じます。

さて、実物投影機を使って「大きく映す」ことは、日常的 ICT 活用の第 1 歩です。

これだけでも大きな効果があることは、実感いただけていることと思います。

活用のレベルが上がったので、「そろそろ、次の 1 歩に進んでみたい」と、密かにお考えの先生方もおられるのではないのでしょうか。

そこでおすすめしたいのが、「フラッシュ型教材」の活用です。

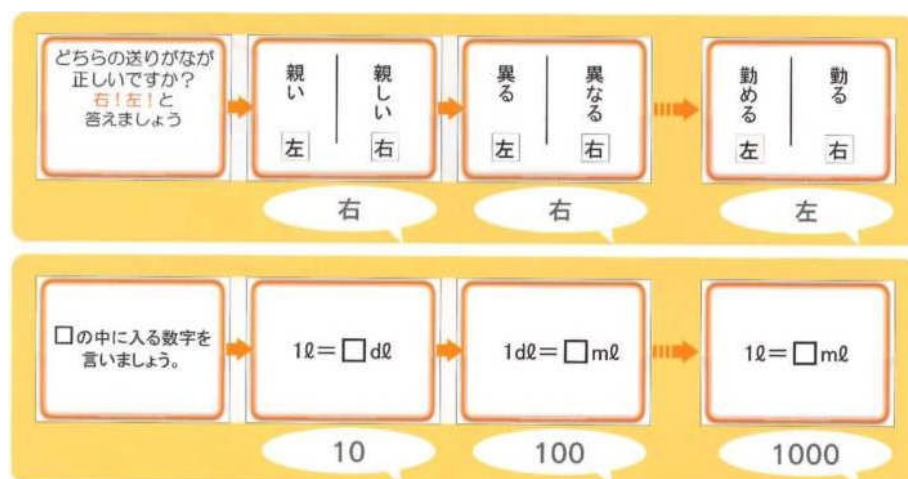
「フラッシュ型教材」とは、フラッシュカードのように、課題を瞬時に次々と提示するデジタル教材です。昔から使われてきたフラッシュカードに、ICT の良さ、手軽さ、便利さが加わった教材が「フラッシュ型教材」なのです。

【 フラッシュ型教材の特長 】 (リーフレット「フラッシュ型教材のすすめ」より)

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 1. 一斉授業で | 普通教室での一斉授業の場面で活用します。 |
| 2. 繰り返して | 繰り返して言わせることで覚えさせることができます。 |
| 3. ほめる機会に | ほめる機会が増えます。自身をつけさせることができます。 |
| 4. 簡単・手軽 | ICT が苦手な人でも簡単・手軽にできます。 |

【 フラッシュ型教材の効果 】

- 子どもたちが学習に集中する。
子どもたちが大きな声を出すようになり、クラスに一体感が生まれる。
- 毎日やっても飽きにくい
出題方法や回答方法に簡単に変化をつけることができる。
(パワーポイントのファイルだから、教材の一部手直しが容易にできる)
- 短時間で学力向上！
毎日、短時間の積み重ねで、基礎・基本の定着、既習事項の定着に大きな効果。



興味のある先生は、「校務ファイル」→「13 情報教育」→「フラッシュ型教材」にコンテンツがありますので、自由に使って試してみてください。また、私に声をかけていただければ、使い方やコンテンツの種類など、何でも相談に乗ります。

ちなみに、「eTeachers」(<http://eteachers.jp>)に会員登録すると、膨大な数のフラッシュ型教材の検索、ダウンロードが無料でできます。